

わいせつ行為、セクシュアル・ハラスメントに関するアンケート調査の結果 及び今後の対応について

1 調査の目的

生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるよう、教職員からわいせつ行為、セクシュアル・ハラスメントを受けたり、直接見たり、聞いたりしたことがあるか生徒にアンケートで確認し、その結果を受け、教職員による生徒へのわいせつ行為、セクシュアル・ハラスメントの根絶に取り組む。

2 調査方法

(1) 調査対象範囲

- ・ 三重県立高等学校、特別支援学校（高等部・中学部）及び公立中学校・義務教育学校後期課程（以下、「公立中学校」と表記）に在籍する生徒

(2) 調査対象期間

<高等学校及び特別支援学校高等部の2，3年生>

- ・ 令和3年度のアンケート調査から今回のアンケート調査実施日までに発生したもの
- <高等学校及び特別支援学校高等部の1年生、特別支援学校中学部>

- ・ 高等学校又は特別支援学校の高等部・中学部に入学してからアンケート調査実施日までに発生したもの

<公立中学校>

- ・ 小学校に入学してからアンケート調査実施日までに発生したもの

(3) 実施方法

<高等学校及び特別支援学校>

- ・ 教職員によるわいせつ行為、セクシュアル・ハラスメントを受けたり、直接見たり、聞いたりしたことがある場合、次の①②のいずれかの方法でアンケートに回答
 - ① パソコン、スマートフォン等のインターネットに接続可能な機器で回答
 - ② アンケート用紙に記入し回答（用紙を家に持ち帰って回答することを基本とする。）

<公立中学校>

- ・ 上記②の方法でアンケートに回答

(4) 調査実施期間

- ・ 令和4年9月9日（金）から令和4年10月31日（月）

(5) その他

- ・ アンケートの回答にあたっては、学年、組、席、名前を記入することを原則とするが、空欄のままでも回答しても構わない。
- ・ アンケート用紙で回答する場合は、アンケート用紙を封筒等に入れ、封をした状態で生徒が信頼できる先生に提出、または、三重県教育委員会事務局教職員課に郵送にて提出する。
- ・ 公立中学校においては、アンケート用紙を封筒等に入れ、封をした状態で生徒が担任の先生へ提出する。

3 調査結果

(1) 集計結果 ※以下、高等学校を「高校」、特別支援学校を「特支」、公立中学校を「中学」と表記

校種		高校	特支	中学	計
生徒数		35,349	1,211	44,652	81,212
回答数	インターネット	24〔21〕	0〔1〕	0	24〔22〕
	用紙	0〔5〕	1〔2〕	80	81〔7〕
	計	24〔26〕	1〔3〕	80	105〔29〕

※ 生徒数は、令和4年10月31日現在

- ・〔 〕内は昨年度の件数 ※ 昨年度、中学では未実施

(2) 学年別回答数

	高校	特支		中学
		中学部	高等部	
1年	2	0	1	26
2年	8	0	0	38
3年	4	0	0	16
無回答	10	0	0	0
合計	24	0	1	80

(3) 設問と回答

※ () 内は外数で、アンケートに生徒名や教職員名などの記載がなく、行為の事実が確認できなかったもの

① わいせつ行為やセクシュアル・ハラスメントを受けた (複数回答可)

選択肢	高校	特支	中学	計
自分自身が被害を受けたことがある	9(4)	0	28(8)	37(12)
他の生徒が被害を受けたところを見た(聞いた)ことがある	13(3)	0	30(14)	43(17)
選択なし	2	1	0	3
計	24(7)	1	58(22)	83(29)

② 誰から被害を受けたか (複数回答可)

選択肢	高校	特支	中学	計
自校の先生	13(5)	1	46(3)	60(8)
他校の先生	0	0	6(8)	6(8)
その他	0	0	5	5
選択なし	4(2)	0	1(11)	5(13)
計	17(7)	1	58(22)	76(29)

【その他の内容】

< 中学 >

- ・ 小学校の先生 5件

③ どのような被害を受けたか（複数回答可）

選択肢	高校	特支	中学	計
性的な行為を受けた	0 (1)	0	0 (2)	0 (3)
必要もないのに体を触られた	15 (3)	0	22 (6)	37 (9)
性的なからかいや冗談を言われた	1 (3)	0	4 (1)	5 (4)
携帯電話などに性的な画像やメッセージが送られてきた	0	0	0	0
「男らしくない」、「女らしくない」などの性別により役割を分担する意識に基づく発言があった	1	0	6 (1)	7 (1)
その他	6 (1)	1	29 (7)	36 (8)
選択なし	0 (2)	0	0 (7)	0 (9)
計	23 (10)	1	61 (24)	85 (34)

【聴取の概要】

※ 生徒や職員、教科、クラブ等が特定できるものすべてについて、生徒や関係教職員への聴取を行った。

○ 「必要もないのに体を触られた」と選択したもの

<高校・特支>

- ・ 部活動でフォームを確認する際、手やラケットのグリップを持って指導された 2件
- ・ 頭髪指導で髪の毛を触られた（同じ案件に対して3名が回答）
- ・ 埃をはらうように服を触られた
- ・ 授業中に居眠りをしていた際に頭を指先でトントンと触って起こされた（同じ教員に対して7名が回答）
- ・ 部活動を引退してから筋力が落ちたのではないかと腹筋辺りを触られた
- ・ 内容の確認ができなかったもの 1件

<中学>

- ・ 小学校の時、休み時間にみんなと話をしながら、膝の上に乗せられることがあった（同じ案件に対して9名が回答）
- ・ 小学校の時の授業中、話をしながら頭をなでられたり肩をポンと触られたりした
- ・ 小学校の時、体調が悪くなり、両肩を抱えて保健室へ連れていかれた
- ・ 部活動でフォームの指導中、手を触られた
- ・ 部活動で動きの指導中、腕や腰を触られた
- ・ 授業中に、肩をトントンと触って呼びかけられた（同じ教員に対して2名が回答）
- ・ 授業中に机間指導の際、手や肩を必要もないのに触られた
- ・ 授業中に机間指導の際、顔を必要以上に近づけられた
- ・ 授業中に、頭をポンと触って話しかけられた
- ・ 体育の跳び箱で、跳ぶ時にお尻を押されて指導された
- ・ 内容の確認ができなかったもの 3件

○「性的なからかいや冗談を言われた」と選択したもの

<高校・特支>

- ・ (回答した生徒が) 友人を背負って保健室に運ぶ際、友人の体重についての発言があった

<中学>

- ・ 小学校の時、休み時間に容姿に関わる発言があった
- ・ 中1の時、授業中に、担任から「お前」と言われ指導された
- ・ 部活動でフォームの指導中、容姿に関わる発言があった
- ・ 授業中に、「髪の毛を切って、かわいいな。」と言われた

○「男らしくない」、「女らしくない」などの性別により役割を分担する意識に基づく発言があった」と選択したもの

<高校・特支>

- ・ 女子だからおしとやかにしなさいと言われた

<中学>

- ・ 授業中、「男やで」「女やで」と決めつけた発言があった 2件
- ・ 男子は級長、女子は副級長でという発言があった
- ・ 男子と女子で役割を決められたり、男女別で行進をさせられたりした
- ・ 内容の確認ができなかったもの 2件

○「その他」と選択したもの

<高校・特支>

- ・ 男子と女子で対応に差がある
- ・ 彼氏や好みのタイプなどプライベートな内容について聞かれた (同じ案件に対して3名が回答)
- ・ 修学旅行の点呼で部屋の中まで入ってこられた
- ・ 教室で体育の着替えをしていたところ、断りなくドアを開けられた
- ・ 太るからそれ以上食べないようにと言われた

<中学>

- ・ 中1の時、顔を必要以上に近づけて指導された
- ・ 中2の時、顔を必要以上に近づけて指導された (同じ案件に対して2名が回答)
- ・ 部活動終了後、女子更衣室を開けて下校を促された
- ・ 部活動で動きの指導中、腕が触れた (同じ案件に対して2名が回答)
- ・ 部活動でフォームの指導中、手などを触れられた
- ・ 部活動で、「ダイエットやと思ってやれ」と言われた
- ・ 部活動で、足の長さや体重など、容姿に関わる発言があった
- ・ 部活動で、肌の色に関わる発言があった
- ・ 男子と女子で対応に差がある (同じ案件に対して4名が回答)
- ・ 授業中に容姿に関わる発言があった (同じ案件に対して4名が回答)
- ・ 授業中に「男のくせに」といった決めつけた発言があった
- ・ 授業中に話しかけられた際、「髪の毛を切って、かわいいな。」と言われた (同じ教員に対して5名が回答)
- ・ 授業のため、教室に戻るよう指導された際、腕に手があたった
- ・ 内容の確認ができなかったもの 4件

④ いつ被害を受けたか（複数回答可）

選択肢	高校	特支	中学	計
授業中	8 (2)	0	28 (5)	36 (7)
部活動中	2 (1)	0	9 (1)	11 (2)
放課後	0	0	0 (3)	0 (3)
その他	3 (2)	1	24 (7)	28 (9)
選択なし	5 (2)	0	0 (6)	5 (8)
計	18 (7)	1	61 (22)	80 (29)

【その他の内容】

<高校・特支>

- ・ 休み時間 3件
- ・ 面接練習中

<中学>

- ・ 小学校の時 10件
- ・ 休み時間 5件
- ・ 1年生のとき 2件
- ・ 2年生のとき 2件
- ・ 具体的な記載なし 5件

⑤ どのような対応を希望するか

選択肢	高校	特支	中学	計
学校の先生に相談したい	0	1	4 (1)	5 (1)
カウンセラーなどの学校外の人に相談したい	0 (2)	0	2 (2)	2 (4)
対応する必要はない	2 (4)	0	23 (12)	25 (16)
その他	12	0	16 (6)	28 (6)
選択なし	3 (1)	0	13 (1)	16 (2)
計	17 (7)	1	58 (22)	76 (29)

【その他の内容】

<高校・特支>

- ・ 先生に注意してほしい 2件
- ・ 何らかの処分をしてほしい
- ・ このようなことをやめてほしい
- ・ 話をしたくない 6件
- ・ 信頼できる先生に相談したい
- ・ 具体的な記載なし

<中学>

- ・ 先生に注意してほしい 2件
- ・ 学校で対処してほしい
- ・ 先生たちの中で会議をしてほしい
- ・ 男女別授業をするなら、同性の先生にすべき
- ・ 不快な思いをすることはやめてほしい
- ・ 先生にセクハラだと認識してほしい
- ・ 知ってほしい
- ・ 親に相談したい
- ・ 友達に相談したい
- ・ 具体的な記載なし 6件

4 アンケート結果を受けた対応

○ 県立学校

- ・ 1月26日、県立学校長会議にて、教職員は指導のつもりであっても、生徒には接触や言葉がけがセクシュアル・ハラスメントと受けとられる場合があることなど、アンケートの内容について報告を行った。
- ・ 生徒が性的に不快感や嫌悪感を抱く教職員の身体接触や言葉がけは、教職員の意図にかかわらず、セクシュアル・ハラスメントに該当することを各校で改めて確認し、生徒への関わり方について見直す機会を設けた。
- ・ アンケート結果をふまえ、回答内容を職員会議等において全教職員で共有した。そのうえで、生徒への不要な身体接触は絶対に行わないことを徹底し、介助などが必要な場合であっても、本人や保護者から了承を得たうえで必要な内容に限定して行うよう確認した。また、生徒への言葉がけについても、性的な要素がないか注意して行うなど、改めて適切な発言を行うよう徹底した。

○ 公立中学校・義務教育学校後期課程

- ・ 市町等教育委員会を通じて、すべての学校において回答内容をふまえて生徒に対する自らの言動を振り返り、生徒との関わり方を見直す機会を設けるなどの対応を行った。

5 今後の対応

- ・ 来年度以降もアンケート調査により実態を把握し、回答結果の周知と自らの言動の振り返りを継続することにより、わいせつ行為やセクシュアル・ハラスメントのない安全・安心な学校となるよう、引き続き取り組んでいくこととする。